



古今類句





二



山家集 いたれと楳のひまねりもあそこ こいげまよのひ月のまじり  
 新子な をあつゝさそもいそいひる ころの海さそをさひの 中道集の宗  
 拾遺集外 文海し海さの雲をけりん ころのさつた山鹿のそ  
 壬生二五中 うけり行月みろ程は衣うの ころの秋のさうよひつれ  
 拾玉集五 河原れひさよささもろねれ ころさつた山鹿のそ 定家  
 新葉冬 ころのぬらぬらの杜をまきり ころさ月乃のさうよひ  
 拾遺集上 あさみより霧さかひく山の ころのさそをさひの  
 長秋詠集 うのささよふれれあひさそて ころのれれさあれんを  
 拾玉集一 何ゆかあひをむとあさも ころのさそをさひの  
 壬生二五中 梅の花やさ乃本れ山風よ ころのよかり落かす雷  
 古今五 いまつとわひあつ物をけり ころのにかりわれとあわ  
 新子五 ころのあつとあつとあつとあつと ころのさつた山鹿のそ  
 拾遺集上 あさみより霧さかひく山の ころのさそをさひの  
 新秋上 白雪のけりりつとさ秋のつ葉 ころのさつた山鹿のそ  
 新秋上 梅乃花ありてかきいれ ころのさつた山鹿のそ  
 拾遺集上 打つとすは袂すりくさあつと ころのさつた山鹿のそ

類

一

のりかつて  
 六秋のつ葉  
 まくもさ  
 のりかつて







拾玉集六

あつめりては月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

壬生二系中

山風は初霧のけを白あけ月 ころもてうらなふれを

拾遺草

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

拾玉集三

衣さねては月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

拾遺草

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

拾玉集一

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

同六

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

拾遺草

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

若葉

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

玉葉集四

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

新拾遺草

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

拾遺草

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

新拾遺草

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

同上

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

金葉集上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

新拾遺草

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

拾玉集四

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

新拾遺草

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

金葉集上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

新拾遺草

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

新葉長傷

三とせやそてあまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

長秋詠

ありては月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

玉葉集四

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

拾玉集四

ころもてうらなふれを ころもてうらなふれを

校衣四

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

拾遺草

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

山家集上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

新拾遺草

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

新拾遺草

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

同上

あまのつゆは月夜ふねうよは ころもてうらなふれを

拾遺集上 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 有原通宗作  
新古今下 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 持中納言俊忠

推本 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

後衣三 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 永福門院

玉葉秋上 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

新古今下 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

相垂 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

山家集上 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

新古今上 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

玉葉秋上 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

拾遺集上 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

伊勢物語 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

大和物語 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

後古今四 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

横笛 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

拾遺集名 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

山家集下 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

拾遺冬 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

月清集下 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

新古今上 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

後古今上 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門

同下 秋風よささしゆくわづらふらしてはるるをのぼるなり 赤澤忠門





風雅冬 山寺の雪も雪もさきさき 雪の山寺は雪の山寺 或る山寺

後松冬 月さあつあつ此の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪道朝月

玉葉林下 月清集 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新勅冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新松冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

山寺集下 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

拾玉集二 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新古雜上 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新葉冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

後松冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

後千鳥上 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

士生二系中 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

同上 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新古冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

後古冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新松冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

同 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

後松冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

後松冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新松冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

風雅雜上 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新松冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

士生二系上 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

風雅冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新勅冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新松冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

新松冬 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺 雪の山寺は雪の山寺

後松冬

後松冬

玉葉林下

玉葉林下

新勅冬

新勅冬

新松冬

新松冬

山寺集下

山寺集下

拾玉集二

拾玉集二

新古雜上

新古雜上

新葉冬

新葉冬

後松冬

後松冬

後千鳥上

後千鳥上

士生二系中

士生二系中

同上

同上

新古冬

新古冬

後古冬

後古冬

新松冬

新松冬

同

同

後松冬

後松冬

後松冬

後松冬

新松冬

新松冬

風雅雜上

風雅雜上

新松冬

新松冬

士生二系上

士生二系上

風雅冬

風雅冬

新勅冬

新勅冬

新松冬

新松冬

新松冬

新松冬

新松冬

新松冬

或る山寺

雪道朝月

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

雪の山寺は雪の山寺

壬生三上

同中

拾遺集上

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

後古冬

海すへをさのうらまは海ハ

袖いらそみよ白浪さうり

大升海ふる波のまじり

さあつちのよもあまの

あま村家やまのりやう

はるらうううううう

秋ききけりけりけり

人の世はうらまは

秋のまのちあり

あまのまのちあり

あまのまのちあり

あまのまのちあり

あまのまのちあり

あまのまのちあり

あまのまのちあり

あまのまのちあり

あまのまのちあり

あまのまのちあり

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

後三位

壬生三上

拾玉集一

玉葉交

拾遺集上

新子冬

壬生三上

後古冬

月清集下

新子拾冬

新子拾冬

後古集上

古今集上

風雅冬

後古冬

拾玉集四

月清集上

壬生三上

後古冬

谷水ひいもさう

秋の野のわたの上

吹風さうい

地ありぬ人乃きけり

室初ては

地をい

い

霜さや

石より

風と

雪は

霜さ

も

松と

志

あ

今

今

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

三条入道

頁

乙

大納言



拾遺愚草 吹風もつらあはしき事なれ  
 疎古雅下 浮世の心かれをてしむるは  
 拾遺愚草 ちとく川をさすすしりぬれ  
 新葉古林上 何少のまきけさのしりぬれ  
 山家集 いて我とこの世はさうそ  
 疎拾雅中 けちちくそくきこの世はさうそ  
 拾遺負外上 いはさうそくきこの世はさうそ  
 拾玉集三 任吉の松の栂のうさうす  
 新葉雅上 ありあかきおふ十乃老を世よ  
 新葉雅上 女のうさうそくきこの世はさうそ  
 新拾雅中 ちて世はさうそくきこの世はさうそ  
 新子急三 唯太人のま本をさうそくきこの世はさうそ  
 拾遺拙名 自はて君とのこもねすこれ  
 拾玉集二 衣衣ぬく袂はさうそくきこの世はさうそ  
 疎子尺教 女のとる法の林のこもねすこれ  
 山家集下 ようさうそくきこの世はさうそ  
 月清集下 大なるはさうそくきこの世はさうそ  
 同 さうそくきこの世はさうそ

拾遺愚草 九重れこのものまきけさうそ  
 伴物拙 秋の栂ぬれと二粒まきけさうそ  
 疎古急三 秋の栂のちとくきこの世はさうそ  
 玉葉急三 拙思ひをさうそくきこの世はさうそ  
 新拾雅中 いふくはさうそくきこの世はさうそ  
 後撰急三 松山よつとまきけさうそ  
 新拾急三 なのりもまきけさうそ  
 疎拾雅中 限ちくさくきこの世はさうそ  
 拾遺愚草 かのちとくきこの世はさうそ  
 玉葉急二 軽うそくきこの世はさうそ  
 拾遺愚草 ちの葉はさうそくきこの世はさうそ  
 新古雅林 ねかちとくきこの世はさうそ  
 拾遺愚草 げとちとくきこの世はさうそ  
 同下 月日をさうそくきこの世はさうそ  
 拾玉集一 とのすれはさうそくきこの世はさうそ  
 新葉古林 ちとくきこの世はさうそ  
 玉葉雅一 山はさうそくきこの世はさうそ

宜秋門院  
 冊後

後人志す  
 小辨  
 内大臣  
 贈太政大臣  
 嚴安門院  
 藤原與風  
 浄觀

凡雅志二 あはるる君よあつてはほほほ こそさうらへんをさめり 後へ下りて

拾遺愚草 初りり乃ゆりりもさう秋風よ こそひびきて衣うつ勢

須磨 山々のいづりまはけるまほくも こそひびきんこさる人

玉葉志六 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 笠女郎

後撰志三 浪のよる磯乃うきぬのさね林 こそひびきそひあたりけ 中務の親

拾玉集八 足さるるおほりりし雪まきま こそひびきつよまのさき

後撰志三 ありきさくもさね松山浪まき こそひびきまは西教うて 贈太政大臣

後撰拾遺傷 多郎山さるるもさねもまき こそひびきまは西教うて 花原隆徳朝下

後撰志下 中くよむうそつさきまき こそひびきまは西教うて 平長時

玉葉志下 花のらうもさねもまき こそひびきまは西教うて お大僧正志

後撰志下 散事けうきもまき こそひびきまは西教うて 源仲宣朝下

後撰志四 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 東三條入道隆徳

凡雅志一 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて お大政

朝子志四 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

横笛 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

子裁志四 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

壬生二下 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

新古今上 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

新古今四 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

新古今上 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

古今志三 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

凡雅雅上 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

拾遺真外 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

拾遺雅外 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

凡雅志中 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

拾遺愚草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

山家集下 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰雅三 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

壬生二上 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

古今志三 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

新拾冬 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

新拾冬 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

朝子志六 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰志六 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

道令法師

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの

後撰遺草 夕さ終へ抱ひひほきまの こそひびきまは西教うて 夕さ終へ抱ひひほきまの









新葉雜下 かりの秋はほほえみとぞも くらもゆるたそる門 御製  
 新葉雜上 今も又ありとてふれぬなるふ くらもゆるたそる門 康資の母  
 玉葉雜四 いくそかこいせせとて梅の心 くらもゆるたそる門 大徳の母  
 新葉雜春 ありつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 三条入道大下  
 拾遺負笠 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 花園院御製  
 拾遺葛草 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 同 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 金葉冬 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 中納言國信  
 手載哀傷 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 大徳の母  
 壬生二五中 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 拾遺負外上 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 月清集上 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 玉葉夏 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 半登井入下  
 拾玉集又 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 吉良の母  
 壬生二五上 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 法良守  
 新葉雜上 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 源頼朝御製  
 拾遺遺衣 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門

玉葉雜四 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 中納言  
 拾遺葛草 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 玉葉秋下 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 新葉雜下  
 拾玉集二 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 源後醍醐  
 後撰志三 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 藤原滋勝  
 拾遺遺五 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 源兼俊母  
 大和御後 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 長秋御葉 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 後撰志四 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 半登井入下  
 後撰志六 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 吉良の母  
 後撰志三 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 法良守  
 後撰志又 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門 源頼朝御製  
 後撰志四 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 後撰志三 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門  
 後撰志三 くらみつりてねとらけはゆり くらもゆるたそる門



古今五 山城乃よれりもかりのた くら人のむ我うらなまき よふ今ふの

新葉秋上 ろよとのと名の秋奈吹風よ こぬ今ふのむ宿そよひき 中務守良經

新拾秋下 鳴まらる雲のけりりものしき こぬ今ふのむ秋うせの比 藤原経師

新吉志四 萩の葉にカキしむ風を運 こぬ人つきたる書のそと 後鳥羽院

拾玉集四 あもれに門のまき産成世賀よ こぬ人ゆひの落しと

壬生二系下 白ひきん昔法の名をさしこぬ こぬ人あしおれ梅こ

玉葉志二 こもひきくも海なるは河も こぬ人のゆはれおききん 今上内製

後撰書下 ちよにこそ花をさみあはるゆめ こぬ人のゆはれおききん 藤原雅正

金葉志下 人こらあはる海を舟にせりこぬ こぬはらりあはるおれ 赤中次越後

子載志三 かねてうりおれひきくも神集 こぬりりあはるおれ 待賢門院加賀

後古雅下 たりらひの心乃やとさるめい こぬあはるははれありたり 赤大御基良

月清集上 君ゆもくあまきとの秋をその こぬあはるははれありたり 赤大御基良

新葉雅下 いくせん我のふけあつみよ こぬあはるははれありたり 赤中次越後

拾玉集七 秋乃内よをれくも衣あはれ こぬあはるははれありたり 赤中次越後

壬生二系上 よそよあつんこふつこも秋を こぬあはるははれありたり 赤中次越後

山家集 花をぬん人のさ乃白ひきを こぬあはるははれありたり 赤中次越後

新葉哀傷 秋をぬん人のさ乃白ひきを こぬあはるははれありたり 赤中次越後

壬生二系下 秋のみのみゆのよはれおむつれ こぬあはるははれありたり 赤中次越後

風雅雅下 九門の海よ鳴なるあつみの こをたりあはるははれありたり 其基良

新葉秋下 立ちり柱てカもいのつか こをたりあはるははれありたり 皇太后の御

新葉雅下 立ちり柱てカもいのつか こをたりあはるははれありたり 皇太后の御

新葉雅下 立ちり柱てカもいのつか こをたりあはるははれありたり 皇太后の御

新葉雅下 立ちり柱てカもいのつか こをたりあはるははれありたり 皇太后の御

新葉雅下 立ちり柱てカもいのつか こをたりあはるははれありたり 皇太后の御

新葉雅下 立ちり柱てカもいのつか こをたりあはるははれありたり 皇太后の御



何花秋

風雅集二

後子秋下

新後子秋下

後拾遺集三

拾遺集外下

後拾遺冬

長秋詠藻上

河記雜上

同秋

拾玉集七

新秋下

新秋下

新後子秋上

月清集上

新後子秋上

後撰秋上

新後撰集

い流くく秋のゆ〜ん日るよふ

とく守なる今よりかた〜そゆ

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

あま〜らぬ〜り横た〜る時

拾玉集二

後古秋下

後拾遺集

玉葉秋上

月清集上

新後子秋上

月清集下

新後子秋上

千載羈旅

後撰集

新葉羈旅

月清集下

新秋三

新秋三

後古秋上

風雅集二

拾玉集七

七夕のうらを衣の袖ら〜

夕さぬ小倉の山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

あつて山り〜

前大徳云

伏見院

志志法師

指大徳

和泉

基俊

三條院

存京

源師賢

前大徳

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

源師賢

登道法師

新勅秋上 かくへ移と秋のちるもさきくれぬ ころひはゆつる月もさきく

新後冬三 思ふたのめぬまのゆつるよ ころひとひいへつるつて

風雅冬三 ころゆつるつるみよのそとつと ころひとさうぬあふ松木

金葉秋 ころけさあひあうと月影を ころひとさうぬあふ松木

拾遺秋上 一とせ乃さつるつらもなをさし ころひとさうぬあふ松木

新冬冬三 年月のつらさあはあはあ ころひとさうぬあふ松木

玉葉冬三 ねころりねねむかろもさきさき ころひとさうぬあふ松木

後撰秋中 社まうつる月れ光ハ秋こそり ころひとさうぬあふ松木

新後撰秋上 夜もさうふあれたよさうひぬ ころひとさうぬあふ松木

新後冬冬 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

拾玉集二 静もそ三世の佛の法を説く ころひとさうぬあふ松木

後撰秋上 久峰のあまれ何なるもあはせ ころひとさうぬあふ松木

拾玉集七 夕暎れ月影の山れさうね ころひとさうぬあふ松木

後撰秋上 かりそめれ草蒲さうさう草拵 ころひとさうぬあふ松木

後撰冬冬 白雪のさうりゆゆゆゆゆゆ ころひとさうぬあふ松木

月清集上 月乃さむ秋乃さ中乃さ石橋水 ころひとさうぬあふ松木

後撰秋上 心あふ情されさあはあはあ ころひとさうぬあふ松木

順徳院法師

大改

大改

拾遺秋 ころかあひてる月をさかきあは ころひとさうぬあふ松木

後古撰秋 ころころあひてる月をさかきあは ころひとさうぬあふ松木

山家集上 月みれさゆゆゆゆゆゆ ころひとさうぬあふ松木

新後冬冬三 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

壬生二下 婦してあはあはあはあはあ ころひとさうぬあふ松木

新葉集上 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

月清集下 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

拾遺秋 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

玉葉集一 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

山家集上 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

月清集下 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

後古集上 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

玉葉集二 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

新花集上 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

拾玉集七 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

同三 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

金葉秋 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

新後撰秋 ころさきさうさきさきみちみち ころひとさうぬあふ松木

和泉式部













伴勢如松 雅は懐とくく...  
 月清集上 唯白くおのの...  
 後拾遺三 かくくくくく...  
 新勅尺教 かくくくくく...  
 拾玉集六 かくくくくく...  
 壬生三品上 かくくくくく...  
 拾遺百非 かくくくくく...  
 後古尺教 かくくくくく...  
 新勅尺中 かくくくくく...  
 新拾遺三 かくくくくく...  
 拾玉集二 かくくくくく...

長秋詠 和奇...  
 後古尺四 かくくくくく...  
 後拾遺三 かくくくくく...  
 新勅尺教 かくくくくく...  
 玉葉雜一 かくくくくく...  
 玉葉雜二 かくくくくく...  
 壬生三品中 かくくくくく...  
 拾玉集五 かくくくくく...  
 新勅尺上 かくくくくく...  
 壬生三品下 かくくくくく...  
 後拾遺百傷 かくくくくく...  
 後子賀 かくくくくく...  
 後古尺傷 かくくくくく...  
 拾玉集五 かくくくくく...  
 月清集 かくくくくく...  
 拾玉集七 かくくくくく...



拾遺集六 月よあそねぬちほひを結ぶよこせしむるを思ひけり  
 新古今集 屋うらうら月のうらみすもえんよのこほり満ちて 秋風は師  
 後千尺教 いらり寂しうらみききとえんよのこほり満ちて 皇太后  
 長秋詠藻 いらり寂しうらみききとえんよのこほり満ちて 中書省  
 新古今集二 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 山家集上 うはきくくをこくくくくくく くらしむもくくくく  
 夕顔 むくひあふ秋のつばきつばき くらしむもくくくく  
 新古今集三 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 玉葉冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 拾遺集三 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 好機冬六 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 拾遺集名 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 長秋詠藻下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 拾遺集質 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 拾遺集六 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 新古今集下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 月清集下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 玉葉冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 新古今集冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 後拾冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 後拾冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 後拾冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 新古今集二 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 長秋詠藻 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 子裁冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 風推秋下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 新古今集下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 古今雜下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 新古今集冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 白雲雜下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 後拾遺集 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 士生二五上 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 同 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 拾遺集草 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく

新古今集 今新古今集のうらみとて くらしむもくくくく  
 月清集下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 玉葉冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 新古今集冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 後拾冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 後拾冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 後拾冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 新古今集二 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 長秋詠藻 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 子裁冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 風推秋下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 新古今集下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 古今雜下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 新古今集冬 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 白雲雜下 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 後拾遺集 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 士生二五上 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 同 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく  
 拾遺集草 くらくくらけらうらみのね くらしむもくくくく

春原深通下

中酒定家

源光経

後三位忠孝

院深制家

極政下

馬内侍

永福門院

皇太后

小野大右大臣

玉葉雜四 女のこころをよめと君と  
 拾遺雜五 夕陽をたもとに  
 後千載上 老らけし神宮の  
 拾遺愚草 袖せしこころを  
 後拾雜下 思ふをうらむ  
 風雅雜上 信山むしあ  
 壬生二系中 立ちのり  
 後撰雜三 言はれし  
 山歌集上 山程を  
 拾遺愚草 心は掃  
 後撰撰書 葉乃  
 玉葉集下 是引の  
 新撰古冬 生四川  
 後千載下 ちか  
 後撰於冬 衣て  
 壬生二系上 嵐吹  
 於玉集四 月あ  
 後撰五 かな

後千載上 秋乃  
 新撰於冬 心ま  
 於玉集七 みる  
 同五 け  
 後撰於冬 掃  
 拾遺杖 秋  
 壬生二系下 ま  
 新撰於冬 秋  
 拾玉集又 秋  
 後千載上 ち  
 後撰於冬 何  
 新撰於冬 ち  
 新撰於冬 ち  
 後撰於冬 ち  
 後撰於冬 ち















後古秋上 秋より緑をくもかぬきし 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 拾遺草 山吹れぬるうらまのてまき 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 後撰撰下 くれはむぬるぬるのちぬき 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 拾遺愚草 老成せく菊れ下木よりむすよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 後撰撰下 なるぬるぬるのちぬき 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 玉葉秋上 秋さけいづるあつとましとる 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 後撰撰上 白ひらるる花のうての香まよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 新撰拾友 時々のあつぬ比のほのめくまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 新撰撰下 色とぬぬい雲丹れ郭ん 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 新撰撰下 一秋をええまよつまよあん郭ん 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 拾遺草 あまのちけいづるほのほのめくまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 山家集下 くれけのうけけいづるあまのちけいづる 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 新古志三 今まむとぬぬまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 後撰撰上 けいづるぬぬまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 拾遺別 今まよいぬぬあつぬまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 新拾友 又月ぬぬまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 拾遺愚草 つまよまよまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家

新葉集下 今よも枝よらぬる花のほのめくまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 拾遺愚草 けいづるぬぬまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 拾玉集六 あつぬぬまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 後古春上 打むぬぬまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 後撰撰四 人心あつぬぬまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 拾遺撰下 揺れぬぬまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 新撰撰下 葉まよまよまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 玉葉集下 けいづるぬぬまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 金葉集上 まよまよまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 山家集下 むぬぬまよまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 新撰撰下 けいづるぬぬまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 新撰撰下 けいづるぬぬまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 拾遺撰下 まよまよまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 長秋歌 石まよまよまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 風雅集 かつまよまよまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 新撰撰下 まよまよまよまよまよまよ 此のほのめくをかりり 大中卿定家  
 山家集下 あまのちけいづるあまのちけいづる 此のほのめくをかりり 大中卿定家

後醍醐天皇御

後二信公

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深

大僧正深







新古雜中 山里よどひらうん乃てしんきん くのまきひまうくま丸 前大僧志慈園  
 後撰鬪談 日くはけしうらうらとてしんきん くのまきひまうくま丸 菅原右大臣  
 拾玉集二 女ささるふとけく山き乃山雲山 くのまきひまうくま丸 律行承親  
 風雅雜中 大ささるふとけく山き乃山雲山 くのまきひまうくま丸 律行承親  
 多載尺教 みるかをほさうんをふらうんそ くのまきひまうくま丸 律行承親  
 風雅雜中 自ぬき手杖の指を強ひひく くのまきひまうくま丸 律行承親  
 新古拾五 芦のえにうねて何れ難波ぬの くのまきひまうくま丸 律行承親  
 新葉五反 りのあまのりくのまきひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 新古拾下 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 拾遺志四 渡の國のちあひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 後撰拾鬪談 今あまのりかねん津波ぬの くのまきひまうくま丸 好忠  
 金葉冬 ちつ雪のりかぬのえ向くうらうら くのまきひまうくま丸 好忠  
 拾玉集一 あひひほりひひのえ向くうらうら くのまきひまうくま丸 好忠  
 梅枝 くのまきひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 新葉集 くのまきひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 拾遺志四 あまのりかぬのえ向くうらうら くのまきひまうくま丸 好忠  
 新古拾下 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 胡蝶 風さけの浪はさうんをふらうんそ くのまきひまうくま丸 好忠

玉葉賀 秋の月影のうらうらみあうか くのまきひまうくま丸 好忠  
 後撰拾鬪談 つまのりかぬのえ向くうらうら くのまきひまうくま丸 好忠  
 後撰拾鬪談 ささるふとけく山き乃山雲山 くのまきひまうくま丸 好忠  
 金葉冬 ちつ雪のりかぬのえ向くうらうら くのまきひまうくま丸 好忠  
 新古拾上 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 玉葉集 みるかをほさうんをふらうんそ くのまきひまうくま丸 好忠  
 風雅五反 りのあまのりくのまきひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 新葉集二 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 後撰撰冬 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 後撰拾五 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 後撰拾上 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 拾遺賀 みるかをほさうんをふらうんそ くのまきひまうくま丸 好忠  
 新古撰上 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 後撰撰上 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠  
 後撰拾上 難波人志のひまうくま丸 くのまきひまうくま丸 好忠

類考

四



新勅雜四 中書卿の御の御ははききと 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 壬生三平中 けやみぬいのつゆはたききと 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 玉葉集 旅人もるれりちるる朝もて 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 詞の夜去 とも出るる人のこころもて 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 拾玉集一 山さこの梅乃白河とちゆゆ 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 後拾遺集 ちみみこつりたつた東海を 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 古今志四 まてとつらねるもゆめあふれ 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 風雅賀 流細おとこふゆめせの毛様よ 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 壬生三平上 あり多へつらねるもつら川 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 新子排階 山城乃ののたつたつたね 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 月清集下 雲つれし原の波はあふなり 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 古今雜上 れか何ふは毒の下まわひぬ 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 同 さつあさのあつたつたあひぬ 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 月清集上 山乃乃若屋乃烟よとつらて 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 拾玉集四 卯の夜乃若屋のうへ風あて 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 同六 あつたつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 拾遺集上 あひいゆめあつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 新勅雜中 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持

伴勢物 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 拾玉集七 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 同 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 玉葉賀 君の代はつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 新勅賀 君の代はつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 拾玉集四 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 松遺集上 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 新勅雜上 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 山家集下 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 風雅雜下 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 後拾遺集 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 新勅雜下 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 玉葉雜一 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 同 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 新勅雜一 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 山家集下 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 後拾遺集下 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持  
 古今哀傷 山つらつたつたつたつたつた 二條院に侍りしつらむらん 中納言家持

光俊下  
 三善寺権持  
 徳因法師  
 眞秋門院丹後  
 中務卿宗光  
 白美宮宗光  
 二条院權持  
 正三位家衡  
 僧正通昭





詞花秋

秋の夜の月をくらねて思ひきり  
こころいひていひ山をこころん  
大僧の言

長秋詠藻上

郭公鳴けりこころ入てわさ  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

拾玉集一

年ふれ共のよさをあふれ  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

風雅雜下

いふこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

新千恋二

業の名をいふ浦乃まひきり  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

千載書上

花ゆふかからぬ山をこころん  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

古今雜上

かこころをみ山をこころん  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

山家集上

限あれん衣つり花をこころん  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

後古志四

秋夜の月をくらねて思ひきり  
こころいひていひ山をこころん  
大僧の言

後拾遺雜三

谷風よまれすといふ花をこころん  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

新松離別

あふこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

拾玉集二

あふこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

後拾遺志二

あふこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

拾玉集六

あふこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

後拾遺雜

あふこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

古今雜別

あふこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

拾玉集七

あふこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

新拾遺志四

あふこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

道命法師  
お大僧の言  
高階宗成下  
在原元方  
源頼康  
お大僧の言  
高階宗成下  
在原元方  
源頼康

玉葉志一

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

千載書上

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

後拾遺書上

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

子載雜中

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

新葉志三

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

後拾遺志三

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

新葉志志

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

拾玉集五

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

後撰秋上

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

大和物語

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

後拾遺志二

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

後撰志四

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

拾玉集一

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

長秋詠藻

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

拾玉集二

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

山家集上

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

拾玉集四

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

玉葉志

かこころをさめぬ思ひ出  
こころいひていひ山をこころん  
高階宗成下

類聚

拾玉集

お大僧の言

拾玉集一

同七

後拾雅中

新後古雜

後古雜下

伴勢物

拾玉集六

拾遺五上

拾玉集七

同

拾遺五二

拾遺五三

拾遺五二

拾遺五上

拾玉集二

後子雜下

後撰撰紙

拾遺負外上

あしきらいつらうらたれ ころりつはよおきわらひ

秋の香もさよひもあつあつ ころり月よまほさうさう

老ぬとてらまほいられも ころり月よまほさうさう

いしと後とすれとさうさう ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

あうらたれとさ世とさうさ ころりあさうさうさう

古今俳諧

あ葉集一

伴勢物

新勅意四

後撰撰紙三

後撰撰紙四

古今意三

後撰撰紙四

後撰撰紙下

山家集下

子載雜別

新拾雅別

新後古教

新子意又

古今物名

新後拾雅秋

後子雜下

同天教

白雪れとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう

あつあつとらあつあつあつ ころりあさうさうさう







新編拾遺上 遠きつらひやちん山果の ころよそむいふ 若くは康行  
 後拾遺上二 つまらぬらんうき世れをゆ ころよそむいふらん 若くは康行  
 新編拾遺上三 今とてさよいつの年月乃 ころよそむいふらん 若くは康行  
 後拾遺上四 神乃多しそのいふやうき ころよそむいふらん 若くは康行  
 風雅志一 孫くも孫いふまのあし西都の ころよそむいふらん 若くは康行  
 後拾遺上二 ころよそむいふらん 若くは康行  
 拾遺上三 ころよそむいふらん 若くは康行  
 壬生二上 甲まをまののりつらむいふ ころよそむいふらん 若くは康行  
 拾遺上四 ころよそむいふらん 若くは康行  
 新編拾遺上五 ころよそむいふらん 若くは康行  
 月清集上 今まらうき乃後うきあひて ころよそむいふらん 若くは康行  
 拾遺上六 乃乃あまのりつらむいふ ころよそむいふらん 若くは康行  
 風雅雜中 けしとて山果をいふまき ころよそむいふらん 若くは康行  
 玉葉集 白あけ神りつらむいふらん ころよそむいふらん 若くは康行  
 後拾遺上 ころよそむいふらん 若くは康行  
 同神祇 又し拾遺とてまむいふらん ころよそむいふらん 若くは康行  
 新編拾遺 秋の月あまのりつらむいふ ころよそむいふらん 若くは康行  
 後拾遺 ころよそむいふらん 若くは康行

新編雜下 忘れとて神いいてあまらん ころよそむいふらん 前園白太政大臣  
 拾遺集三 ころよそむいふらん 若くは康行  
 風雅雜中 ころよそむいふらん 若くは康行  
 拾遺集六 ころよそむいふらん 若くは康行  
 新編拾遺上 ころよそむいふらん 若くは康行  
 後拾遺下 ころよそむいふらん 若くは康行  
 壬生二上 ころよそむいふらん 若くは康行  
 拾遺集又 ころよそむいふらん 若くは康行  
 後拾遺上 ころよそむいふらん 若くは康行  
 拾遺集四 ころよそむいふらん 若くは康行  
 風雅雜上 ころよそむいふらん 若くは康行  
 新編雜下 ころよそむいふらん 若くは康行  
 月清集上 ころよそむいふらん 若くは康行  
 後拾遺上 ころよそむいふらん 若くは康行  
 新編拾遺 ころよそむいふらん 若くは康行

隆寛  
 若くは康行  
 中々  
 大徳成和  
 若くは康行  
 花園院  
 若くは康行  
 仁和寺  
 澄定法親王

四十七









新撰古今 秋のめと秋の葉のまゝりき風流 ころころと秋乃うへか 源貞世  
 玉葉集 朝夕を忘れぬまゝりきにうを ころころと秋乃うへか 源貞世  
 山家集下 入月さす山のあはれを忘るるも ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今上 嘆きむらさきをうへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 子載尺教 八月をうへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 拾玉集三 七夕の雲れうへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今中 秋のめと秋の葉のまゝりき風流 ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今下 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 拾遺集一 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 総角 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今冬 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 校衣三 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 月清集上 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 子載集四 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今下 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今別 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 凡雅集下 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世

新撰古今上 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 壬生二上 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今上 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今下 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今上 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今三 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今上 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 拾玉集一 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今三 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 長秋詠藻 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 壬生二上 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 同 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今中 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世  
 新撰古今下 ころころと秋乃うへか ころころと秋乃うへか 源貞世

類

又十四

伏見院御製  
 大内大臣  
 藤原氏總  
 西行法師  
 右大臣源長  
 大僧正賢俊  
 大宰大貳遠  
 権中納言通俊





拾玉集二

同四

同

後古雅中

金葉卷下

好撰卷四

後子秋下

新後古葉三

新後古葉二

拾玉集三

後拾遺別

後古卷二

新葉卷紙

後子卷三

新後卷一

新古雅上

新勅卷二

拾遺雅春

はるのくえあれ野原のさか ころん人よあまれわすけ

尺のきくぬ法のあかあはし開き時 ころんひとくわひあし人

初瀬山月のまよあゆみ行く ころんせむころんまのきか

わく山よ力ととのまぬわつれ又 ころんまきころんをさころん

あさゆり白波よりかきあけふふ ころんころんくはむもころん

そころん向ふまきころんあまの真 ころんころんくもかころんか

光あけいひり半もさあぬと ころんころん風と月あり人

いつもふれまき世ありもまの ころんころんくころんくハサ人

ころん花のわさびあつりころん ころんかせま其れ山をせ

あさくつ今後別はみころんか ころんころんけけまれゆあ

あさくつ重計ころんころんも ころんかよぬねはるころん

あさきれ浦りころんかひもあゆり ころんかよぬねはるころん

にたのの君といのね非は ころんかよぬねはるころん

ころんまよさむころんかひもあゆり ころんかよぬねはるころん

我ころんころんころんあゆり ころんかよぬねはるころん

白雪へわきてもころん女郎犯 ころんかよぬねはるころん

ころんやを難波のころんころん煙 ころんころんくあまねあ

いつころん山のころん花はころん ころんかよぬねはるころん

玉葉雅二

後古卷一

山家集

同

拾玉集四

同三

後古卷二

拾遺愚草

新子卷二

風雅卷二

新拾卷二

風雅卷四

玉葉卷二

同卷四

古今卷二

御花卷上

新後古卷

風雅卷一

わむいさくもかき世を捨やそ ころんころんまきころん

ふふよろころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

ころんころんあまのつけ初 ころんかよぬねはるころん

お茶屋定時

まふころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

ころん

西行法師

後季廣

賀茂重保

芬陀利院

後伏見院

重之

後人

後二位家隆

後元元吉

後元元吉

新古今  
新古今

拾遺春上 世中と世のほそくはかたねも ころよりと記すはたす 能因法師

拾玉集四 暮れ居乃つはまはまねくも ころより柳散るひも 前田白太政大臣

新古今四 かしこくはらぬとらふくも ころよりと記すはたす 有弟基氏

拾玉集四 くれもねくはくをねのあまも ころより吹秋の初らせ 見性法師

新古今教 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 宜有典侍

拾遺拾遺二 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 大天僧正隆井

玉葉雜一 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 前大僧正隆井

月清集下 秋乃野はあま乃あまのあまも ころよりと記すはたす 章義院院主

玉葉林下 世にのつれはくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

同表又 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾遺自外 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾遺自外 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今下 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

山家集下 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾玉集一 世にのつれはくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

同表 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今表傷 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾遺自外 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾玉集四 山とてはくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今表傷 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾遺自外 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今表傷 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

古今物名 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾遺愚草 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今表傷 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾玉集四 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾遺別 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今表傷 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾遺別 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今表傷 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

拾玉集七 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今表傷 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今表傷 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

新古今表傷 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

同表 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

同表 くれもねくはくをねのあまも ころよりと記すはたす 堀河右大臣

道命法師  
新古今表傷

道命法師  
新古今表傷

道命法師  
新古今表傷

道命法師  
新古今表傷

道命法師  
新古今表傷



山家集下 うきまうりほわい移めり秋葉 ころほくころほく ころほく ころほく  
 後撰卷六 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 後拾遺卷六 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 後拾遺卷六 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 玉葉雜一 月影はゆづれぬき君あふ ころほくころほくころほくころほく  
 新古今上 月影の初秋をきとふゆけし ころほくころほくころほくころほく  
 新葉卷五 時をまきてやましく入侍いひ ころほくころほくころほくころほく  
 新古今雜一 山はまきだきいふくむ ころほくころほくころほくころほく  
 新古今雜一 山はまきだきいふくむ ころほくころほくころほくころほく  
 長秋詠集 夕月影あけりりくころほくころほくころほくころほく  
 後拾遺 だつねきてそくも山影まきあふ ころほくころほくころほくころほく  
 新葉卷五 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 玉葉卷上 秋のまきまき三ヶ月の雲をり ころほくころほくころほくころほく  
 壬生二玉中 木はちかきりくころほくころほくころほくころほく  
 月清集上 そのまきあひもく秋風れ ころほくころほくころほくころほく  
 壬生二玉下 白雪のまきいひく月影 ころほくころほくころほくころほく  
 長秋詠集 山影まきいひく月影 ころほくころほくころほくころほく  
 拾遺集二 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく

同 若菜院總持 郁芳門院 因齋院佛可 赤大納言光任 赤大僧 若菜院 若菜院 若菜院 若菜院

後子卷四 いまのまのまの月の影 ころほくころほくころほくころほく  
 子裁卷下 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 新古今下 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 新古今上 山乃まきいひく月影 ころほくころほくころほくころほく  
 徒衣四 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 古今秋上 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 金葉雜上 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 後古今下 初時ぬ山のまきいひく月影 ころほくころほくころほくころほく  
 大和物語 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 後拾遺卷三 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 月清集上 秋ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 新葉卷五 秋と吹風れやりのり人あふ ころほくころほくころほくころほく  
 後古今中 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 玉葉卷一 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 長秋詠集 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 後古今上 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 後古今中 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 後古今下 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく  
 総角 ころほくころほくころほくころほくころほくころほくころほく

赤原宗門 権大納言公實 若菜院 若菜院 若菜院 若菜院 若菜院 若菜院 若菜院 若菜院

後拾遺 後拾遺 後拾遺 後拾遺 後拾遺 後拾遺 後拾遺 後拾遺



拾玉集二

山家集

新勅集二

拾玉集一

張古集一

月清集上

新葉尺教

新葉古教

新千秋下

新葉集上

新千秋下

山家集上

風雅集三

張子集四

張子集四

新千秋下

風雅集一

秋のうらみつらひさきぬ白菊よ

秋の山時をぬく身は海

たのりぬきこころまじりて

ふらゆふも葉吹く秋風を

ありまてはつとみは梅の家

くねま井のこころは衣より

いとせのたれと月とまはれ

孫つる花も紅葉もあはれ

あつたつた花も紅葉もあは

秋と衣とあつたつた紅葉乃

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

月結といひまはれつらふい

かみひらりとあつたつた

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

新千秋下

張古集一

拾玉集三

月清集上

玉葉雅四

新拾遺四

拾玉集四

後撰卷三

拾玉集又

後拾遺雅一

新張古集三

張古尺教

新張古集三

張千集二

新古集四

新後尺教

新拾遺卷一

新勅集又

花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい

あつたつた花よりつらふい









拾玉集六 後世の如くいつらんもさるる月日なることさるる  
 後世撰 露よとわくは扇のてしん ころの月日なることさるる 宗徳院の  
 後子尺教 ひききたの雲はわりの山雲 ころの月日なることさるる 基後  
 拾玉集三 色なきはまつとありひよのれ ころの月日なることさるる  
 月清集上 みるるをよさるる本は徳光 ころの月日なることさるる  
 拾玉集五 さうとありひよのれ ころの月日なることさるる  
 新子尺教 世の中は種の花はいろくも ころの月日なることさるる  
 山家集下 世のうきふひうき人のあはれ ころの月日なることさるる  
 後子相中 かたやまのうきむしひのあはれ ころの月日なることさるる  
 新子尺教 われも人をもとる人をもとる ころの月日なることさるる  
 新子尺教 志くあはれもあはれもまじり ころの月日なることさるる  
 山家集下 水らまのうきさるるまじり ころの月日なることさるる  
 後世撰 極まよるまよるまじり ころの月日なることさるる  
 後拾遺別 ありひよの道はいろくあはれ ころの月日なることさるる  
 拾玉集七 後わく今わく月日はひよく ころの月日なることさるる  
 新子尺教 いてるあまのうきあはれむし ころの月日なることさるる  
 風雅共下 根もつる花もつるまじり ころの月日なることさるる  
 新子尺教 いろくせんいろくひよのまじり ころの月日なることさるる

宗徳院の  
基後

宗徳院の  
基後

宗徳院の  
基後

宗徳院の  
基後

宗徳院の  
基後

後世撰 露よとわくは扇のてしん ころの月日なることさるる  
 拾玉集二 色なきはまつとありひよのれ ころの月日なることさるる  
 後拾遺集 みるるをよさるる本は徳光 ころの月日なることさるる  
 拾玉集四 さうとありひよのれ ころの月日なることさるる  
 後古志一 世の中は種の花はいろくも ころの月日なることさるる  
 拾玉集七 世のうきふひうき人のあはれ ころの月日なることさるる  
 新子尺教 かたやまのうきむしひのあはれ ころの月日なることさるる  
 後古志二 われも人をもとる人をもとる ころの月日なることさるる  
 拾玉集一 志くあはれもあはれもまじり ころの月日なることさるる  
 拾遺愚皇 水らまのうきさるるまじり ころの月日なることさるる  
 拾玉集一 極まよるまよるまじり ころの月日なることさるる  
 風雅共一 ありひよの道はいろくあはれ ころの月日なることさるる  
 同 後わく今わく月日はひよく ころの月日なることさるる  
 新古志一 いてるあまのうきあはれむし ころの月日なることさるる  
 後古志中 根もつる花もつるまじり ころの月日なることさるる  
 後古志一 いろくせんいろくひよのまじり ころの月日なることさるる

宗徳院の  
基後

宗徳院の  
基後

宗徳院の  
基後

宗徳院の  
基後

抄 三 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

抄 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

抄 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百





新後百教 けしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

拾玉集六 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

山家集下 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

月清集下 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

拾玉集六 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

新勅尺教 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

後後撰教 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

新千載中 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

拾遺貞空 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

拾玉集一 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

新千載教 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

同 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

後撰集下 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

後古雅別 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

後撰雅三 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

後後撰集下 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

新古雅別 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

長秋蘇摩 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

世とつらきあまのよめつらき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

新古雅中 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

山家集上 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

同雅上 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

新拾玉六 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

玉葉集三 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

後子志三 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

拾遺貞空 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

子載秋上 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

同冬 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

月清集上 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

千載冬 月さかしのしきもつらきもあはれきき ころりけみらの磯なりけれ 賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

賀茂本保

孫千雅中 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 出合奈太  
 玉葉神祇 ちりもいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 慈野寺前  
 新後拾遺 ち山田よあはれいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 宝蓮法師  
 新葉雅上 あふりてあはれいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 志茂門院  
 孫古雅上 西朝のうづねとねん君の美 ころりて月をくらふ 権律師仙覺  
 大和物語 かるるいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 和泉式部  
 風雅志四 ちねん君の美 ころりて月をくらふ 和泉式部  
 拾玉集七 うきねん君の美 ころりて月をくらふ 和泉式部  
 風雅林中 雲晴てもあはれいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 大納言忠良  
 新千巻三 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 達智院隆泰  
 金葉秋 いづちねん君の美 ころりて月をくらふ 民乃右教  
 新後尺教 水もあはれいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 蓮生法師  
 新千巻一 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 大納言資季  
 拾玉集五 ちねん君の美 ころりて月をくらふ 從二位家隆  
 孫後拾遺下 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 從三位家隆  
 孫古秋上 いづちねん君の美 ころりて月をくらふ 從三位家隆  
 孫拾遺孟 ちねん君の美 ころりて月をくらふ 道命法師  
 拾遺愚草 かるるいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 道命法師

十載書上 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 仁和寺  
 拾玉集二 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 仁和寺  
 拾遺春 後芽原のうづねとねん君の美 ころりて月をくらふ 惠慶法師  
 新古志三 あはれいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 俊頼法師  
 拾玉集七 月をくらふいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 俊頼法師  
 孫拾遺孟 きつとあま君の美 ころりて月をくらふ 伴勢才大輔  
 金葉書 白雲とあま君の美 ころりて月をくらふ 春之妻  
 新後拾遺三 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 春之妻  
 孫撰雜四 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 共給心  
 新後古尺教 定ちねん君の美 ころりて月をくらふ 從二位家隆  
 拾玉集三 ちねん君の美 ころりて月をくらふ 從二位家隆  
 孫千巻三 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 從二位家隆  
 孫千巻二 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 從二位家隆  
 孫千巻四 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 從二位家隆  
 拾玉集七 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 從二位家隆  
 同六 けしきみちとあま君の美 ころりて月をくらふ 從二位家隆  
 月清集上 人乃あはれいづちねん君の美 ころりて月をくらふ 從二位家隆

何秋 ちくは乃ひのむらもきこぬ ころろくよのやうり 和泉式部  
 新撰尺教 法の水ひのちれいしひ ころろくよまきそなりぬ 大僧正澄  
 長秋詠藻 法人のちくはれは時あつ ころろくよのよみうり 栄実法師  
 新撰下 持てそあつし山嶽今くれ ころろくよ世なりし 栄実法師  
 拾玉集二 吉野山なる指城くろり ころろくよまきそなりぬ  
 同三 ころろくよまきそなりぬ  
 新撰上 ころろくよまきそなりぬ  
 新撰拾遺 ころろくよまきそなりぬ  
 拾玉集一 かりのちくはれとてふ ころろくよまきそなりぬ  
 新撰下 卯花乃てのほよまきそなりぬ 貞之助  
 山家集下 力のちくはれとてふ ころろくよまきそなりぬ  
 拾玉集四 ころろくよまきそなりぬ  
 後古今 ころろくよまきそなりぬ  
 風雅集下 山人のちくはれとてふ ころろくよまきそなりぬ 大上天皇  
 千載冬 ころろくよまきそなりぬ  
 新古今 ころろくよまきそなりぬ  
 月清集上 ころろくよまきそなりぬ  
 拾玉集三 ころろくよまきそなりぬ

同 ころろくよまきそなりぬ  
 古今五四 ころろくよまきそなりぬ  
 壬生二上 ころろくよまきそなりぬ  
 拾玉集六 ころろくよまきそなりぬ  
 拾遺夏草 ころろくよまきそなりぬ  
 後拾尺教 ころろくよまきそなりぬ  
 拾玉集三 ころろくよまきそなりぬ  
 同 ころろくよまきそなりぬ  
 新撰秋下 ころろくよまきそなりぬ  
 新撰古春上 ころろくよまきそなりぬ  
 山家集下 ころろくよまきそなりぬ  
 拾玉集一 ころろくよまきそなりぬ  
 後拾遺三 ころろくよまきそなりぬ  
 若菜下 ころろくよまきそなりぬ  
 拾玉集一 ころろくよまきそなりぬ  
 後撰撰集 ころろくよまきそなりぬ  
 拾玉集七 ころろくよまきそなりぬ  
 後撰離別 ころろくよまきそなりぬ



新撰古詩 秋の夕まゝに河の氷乃 ころろきくも世を新か 前条後雅有  
拾遺貞空 いたの山みねの本じとぬ ころろきくも月を新か  
拾玉集五 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 右大納言朝  
新撰 時をなまじつころろの世のひまよ ころろきくも月を新か 権中納言明  
新撰喜下 春風は吹ゆる花乃まき木りり ころろきくも月を新か 法皇御製  
大和物語 花のまよとともものまよあふ御製 ころろきくも月を新か  
山家集上 ぬとあふみあとの草まよあふみ ころろきくも月を新か  
新撰雜中 山海とまよしもうそあふみ ころろきくも月を新か よみかき  
新撰喜三 多秋乃うり香のころろ物新 ころろきくも月を新か 花山院御製  
拾玉集三 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か  
拾遺貞空 むすまよあふみ風乃まよ ころろきくも月を新か  
若菜上 中ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か  
新撰秋上 燕のまよ吹すころろ風の香よ ころろきくも月を新か 西行法師  
拾玉集二 ころろのまよ吹すころろ風の香よ ころろきくも月を新か  
新撰古雅上 風ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天台座主後醍醐  
拾玉集七 秋乃野れ小くう下れまよ ころろきくも月を新か  
新撰道刹 くれつねあふみ別のまよひまよ ころろきくも月を新か 若菜上  
新撰誹諧 あつらふとむくころろまよの ころろきくも月を新か よみかき

後撰喜下 あつらふとむくころろまよの ころろきくも月を新か 源朝臣あき  
拾遺喜四 くれつねあふみ別のまよひまよ ころろきくも月を新か 人まよ  
新撰喜四 わひぬれ今つと物とむくまよ ころろきくも月を新か ころろ  
拾遺喜堂 花ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か  
新撰秋上 麻の香吹すころろまよの ころろきくも月を新か 西行法師  
月清集上 たくやまよあふみ別のまよひまよ ころろきくも月を新か  
同 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か  
拾遺貞空 時もあつらふとむくころろまよ ころろきくも月を新か 天曆中  
新撰喜下 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中  
新撰喜下 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中  
拾玉集一 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中  
金葉喜 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中  
新撰古雅 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中  
拾遺秋 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中  
蜻蛉 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中  
早麻 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中  
後撰秋中 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中  
拾遺 ころろきくも月を新か ころろきくも月を新か 天曆中



拾玉集四

壬生三不上

同中

拾遺集外上

同

玉葉集五

玉葉集上

玉葉集四

風雅集五

新撰拾遺上

玉葉集四

新撰拾遺下

拾玉集二

玉葉集四

風雅雜下

同冬

後撰雜三

時をうら雲のうきさきさきむか

まはるゝあや下もくさくさ

秋凡まよひ星の影さへよ

昔しけりみちみちあきとく

年ひらうらうらうと秋のち

都云雲井の影をきく人き

くひさしてはてふ月のあま

嵐やう涼山の里り若とま

都云あやぬさうとさうあ

嵐やうあやぬさうとさうあ

いふいひいふふとらんと

秋葉といひて出る月れり

限なきよひのとうみり

山里乃々の影さきむれ

夕日向く梢のあはれさう

かたしきさうさうさうあ

いささうらうらうらう

わつたふもあやぬあやぬ

皇太后天皇後

永徳院内侍

六條右大臣

上東門院

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

新撰拾遺中

花よあやぬあやぬあやぬあ

後撰拾遺下

いささうらうらうらう

新撰拾遺上

かたしきさうさうさうあ

後撰拾遺中

いささうらうらうらう

後撰拾遺下

いささうらうらうらう

新撰拾遺上

かたしきさうさうさうあ

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

お九郎

新古今集

後拾遺二

總角

山家集上

後古雜上

新古今中

同尺教

拾玉集二

山家集下

拾玉集五

山家集下

同

拾玉集一

新拾遺後

山家集下

拾玉集又

新古今後

拾玉集三

あつ玉の年うらまそおとぬハ  
こころも志のよはれもあつ小  
中納言家持

伴鶴の海乃細のうけ縄とよ  
こころもひのあふりひひ  
お中納言雅玄

女郎花さけ流おのほとせ花  
こころせそくやあはれゆた  
こころせむらあささる

かあつうれ何のむひのほきて  
こころきむもほからり  
権中納言長雅

夏まのそ袖とめくそ妹の月  
こころすまては信ひりし  
法皇御製

あつま此末と紙とらう山吹れ  
こころと海らんかあさる  
権少僧於縁信

静なるあさやまこころあ介  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

さねあけてあつうれはれ人も  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

山岩とせくあつ針の水けりう  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

こころ乃昔乃紙とねりあも  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

力あつうらこころ罪もあはれ  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

ほろあおくまこころらうら  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

あつうてあれ新常小粒あも  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

あまたつうを火のま乃筆の  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

雲鳴ありの山吹の月うれ  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

うらうあつうの心はあつ人れ  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

もろ人乃ねえひと心のほ風  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

山河の岩うらつそ紙まこころ  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

月清集上

拾玉集三

新古今中

拾玉集七

後撰又

新拾遺上

山家集上

新古今後

新古今後

山家集上

新拾遺上

拾遺秋

大和物語

古今雜上

後撰雜二

謹

後千雜上

古今賀

日秋さつ松うらめ此綱さみ  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

初やうとあつうらあつと後や  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

君ませに雲昇ま白あ友のそれ  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

さみののよわらう秋れ又附載  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

権内ておわりお我をほくま  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

そらよ又あつうらあつと後や  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

山吹のそれさくこころとあつ  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

鳥那うらうれ曉をあつうま  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

はら此後よさそとあつうら  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

いづ秋よ秋あひわら月ま  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

お葉ああれのそ月あこころ  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

いつこもあれ枝とあつうら  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

いづあつたまさそとあつうら  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

水けうあつうらあつうら  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

うらあつうらあつうら  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

へあれと秋れゆらを拾遺  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

あつうらあつうらあつうら  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風

あつうらあつうらあつうら  
こころとあやや宇治川風  
こころとあやや宇治川風



拾遺雜上 ありふ草な... ころころわき... 神製

拾遺集六 何せんよぬ... ころころ... 花原信光

同四 なるころ... ころ... 氏乃為定

凡雅錄 ありつ... ころ... 中尾祐賢

五葉神祇 甚月山神... ころ... 前右大臣

後撰秋下 相返乃室... ころ... 貫之

新千世賀 百年のま... ころ... 後鳥羽院製

五葉集上 甚霞粧ま... ころ... 花山院前木

新後拾雅上 うりつ... ころ... 赤谷汝敷有

後拾遺集 於いつ... ころ... 指大納言經

新初雅二 あつ返の... ころ... 三三位知家

後子冬 凡さむ... ころ... 前大僧正昭

新拾遺集 今日... ころ... 法下公順

新子冬四 まつり... ころ... 嬉子内親王

新千世三 幼う... ころ... 照是法師

後衣四 うる... ころ... 照是法師

後子春上 かつ... ころ... 正三位四女

古今志四 月... ころ... 右京藤信親

凡雅雜下 和... ころ... 人ま路

拾遺志三 於... ころ... ころ... ころ...

花宴 いた... ころ... ころ... ころ...

拾遺雜秋 久... ころ... ころ... ころ...

月清集上 山... ころ... ころ... ころ...

新葉雜上 乃... ころ... ころ... ころ...

新後拾遺集 限... ころ... ころ... ころ...

同雅春 若... ころ... ころ... ころ...

同秋上 三... ころ... ころ... ころ...

拾遺愚童 あ... ころ... ころ... ころ...

後拾雅上 波... ころ... ころ... ころ...

月清集上 白... ころ... ころ... ころ...

凡雅集下 甚... ころ... ころ... ころ...

後撰集上 か... ころ... ころ... ころ...

壬生二下 う... ころ... ころ... ころ...



金葉雜下

新撰古上

月清集上

拾玉集一

新撰古上

拾玉集三

壬生二下中

金葉雜上

古今和名

玉葉秋下

後拾冬

新千載上

後拾遺集

山家集上

千載冬

拾遺集上

後拾遺集三

よそあつくともむきぬまはりよ  
くまをそくふたはるの  
お大納言為氏

都より心をくまぬまはり  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

其といふはけしきぬまはり  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

其も又平治初め  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

壬生二下

千載上

後撰冬

後拾遺集

新撰古上

後拾遺集

古今春下

新千載

後拾遺集

新千載上

後拾遺集上

古今春下

後拾遺集

拾玉集六

風雅秋下

玉葉春上

同秋上

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

くまの山名もつたれ  
くまの山名もつたれ  
お大納言為氏

頭切

七十九

大貳三徑

権中納言信実

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏

お大納言為氏



風雅及 時者得費 金葉集 初のり...  
後撰雜一 かつさしあまの山を...  
金葉及 郭云す...  
新撰雜中 和言浦より河也...  
千載夏 るゆの...  
金葉及 年よ...  
風雅秋中 初かり...  
金葉春 春あふ...  
後撰撰及 夏あつ...  
風雅書中 花のう...  
月清集上 昔より...  
玉葉集上 昔より...  
後撰拾秋上 妻あま...  
玉葉集三 帯との...  
新撰拾秋 秋風の...  
拾玉集六 物もす...  
後撰秋下 秋もふ...  
同巻二 ひらの...

俊頼卿下

若木卿下

板政大臣

法皇御製

皇太后御製

左京大夫俊忠

後醍醐天皇

源俊賴卿下

よみ人あふ

伏見院御製

二条太皇太后御製

侍從乳母

實之

津守國量

同

玉葉尺教 朔あけ...  
後拾遺冬 きり...  
拾玉集一 かつ...  
壬生二系中 立初...  
郭吉忠又 雲の...  
壬生二系上 おれ...  
拾玉集七 時を...  
玉葉秋上 昔より...  
壬生二系上 み...  
新撰拾遺 ち...  
後撰拾秋 び...  
同雅中 ろ...  
後撰忠又 郭...  
玉葉及 入...  
拾玉集二 を...  
後撰雅二 深...

後醍醐天皇御製

右京大夫

若原孝子

郭植

後醍醐天皇御製

俊頼卿下

平宗正

よみ人あふ

後醍醐天皇御製

民乃為世

宣旨

頼朝御製

新子雜中 人志れどもとあり松の秋の ことなきまもあつて神小 後京極院  
 新子古夏 けりこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 長秋詠摩 けりこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 山家集上 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 後拾遺 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 玉葉集四 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 後撰名 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 後古秋下 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 風雅秋上 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 新子拾遺 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 玉葉集三 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 拾遺集上 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 後古夏 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 山家集上 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 新子冬 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 千載名 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院

後拾遺 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 山家集上 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 拾遺集六 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 新子拾遺 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 古今賀 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 拾遺雜秋 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 拾遺集七 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 新子雜中 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 新子古春上 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 玉葉集二 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 風雅書上 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 古今名 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 古今秋下 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 拾遺集六 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 後撰雜二 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 新子拾遺 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院  
 後撰秋上 志のこえぬはあつたりけりきん ことなきまのすけ杜乃下露 後聖徳院

凡雅書上 たちよそをいふ山の来きぬ 三三位知家  
新古雜上 梅の枝よりわたりて入る郭公 三條院高倉  
玉葉雜三 ひとの妻つくせぬあつ風力 市原  
拾玉集一 いづれもなをさるれ山の犬 三三位知家  
長秋談藻中 四方の海も風あつてさう成ぬじ 三三位知家  
新拾五 層なるけりさのたれ郭公 從三位行家  
壬生二系中 山吹れをさへ吹くさうふ也 按家使云伊  
新藤古賀 陰きぬきうれ枝よまじしもれ 三三位知家  
山家集上 夕さねを玉うてさのほま 三三位知家  
拾玉集四 夕さねを玉うてさのほま 三三位知家  
古今夜 夜山よあつさんやつりぬん 紀伊守  
壬生二系上 春をたよもさうぬくさう 三三位知家  
新古賀 春をたよもさうぬくさう 三三位知家  
拾遺愚草 ひとろくさの枝よさる波も 三三位知家  
子我器旅 猿ねもほま海の海後の長き 藤原家  
拾遺愚草 雪乃うちよいそおのゆきまれ 三三位知家  
山家集上 玉章のつとみみてうりぬれ 三三位知家  
拾玉集二 山家乃あつあつさうゆめぬ 三三位知家

拾遺愚草 月さきみちらうらうら 三三位知家  
同下 海にれつる月もらうらうら 三三位知家  
子我書上 梅の枝よあつてさうぬくさう 三三位知家  
壬生二系中 秋の四乃りおれぬらうら 三三位知家  
新藤拾遺 くれけの移りぬくさうぬくさう 三三位知家  
壬生二系中 長やまき里の雲升れおしよ 三三位知家  
新拾五 明るおれ月けさうぬくさう 三三位知家  
金葉書 夕さねを玉うてさのほま 三三位知家  
新藤拾遺 夕さねを玉うてさのほま 三三位知家  
孫千春上 谷さうさ古葉をいつつさう 三三位知家  
古今秋上 おく山よあつあつさうぬくさう 三三位知家  
新藤古賀 立ぬくさうぬくさうぬくさう 三三位知家  
新古秋下 今よりやあつあつさうぬくさう 三三位知家  
新古秋下 むくさうぬくさうぬくさう 三三位知家  
新藤秋下 秋をたよもさうぬくさう 三三位知家  
大和拙漢 なるなれとれつてあつあつさう 三三位知家  
拾遺愚草 秋山よあつあつさうぬくさう 三三位知家  
玉葉書四 雲升れおしよぬくさう 三三位知家

三三位知家

三三位知家

三三位知家

玉葉春上人志のまじり地もあつてさう乃  
風雅雅中 冬返りあつてさう乃  
拾遺集二 冬返りあつてさう乃  
同三 冬返りあつてさう乃  
新勅書上 冬返りあつてさう乃  
新勅書下 冬返りあつてさう乃  
壬生二系中 冬返りあつてさう乃  
同上 冬返りあつてさう乃  
拾遺集上 冬返りあつてさう乃  
拾遺集下 冬返りあつてさう乃  
壬生二系中 冬返りあつてさう乃  
拾遺集二 冬返りあつてさう乃  
新勅書上 冬返りあつてさう乃  
新勅書下 冬返りあつてさう乃  
拾遺集七 冬返りあつてさう乃  
月清集 冬返りあつてさう乃  
山家集上 冬返りあつてさう乃

平兼盛  
伏見院  
大納言師氏  
花原兼氏  
大納言師氏  
平兼盛  
伏見院

壬生二系上 梅の枝はさう乃  
凡雅秋中 冬返りあつてさう乃  
同夜 冬返りあつてさう乃  
新勅書上 冬返りあつてさう乃  
上系秋上 冬返りあつてさう乃  
古今秋上 冬返りあつてさう乃  
玉葉集上 冬返りあつてさう乃  
拾遺集上 冬返りあつてさう乃  
新勅書上 冬返りあつてさう乃  
新勅書下 冬返りあつてさう乃  
拾遺集上 冬返りあつてさう乃  
山家集下 冬返りあつてさう乃  
拾遺集三 冬返りあつてさう乃

教安門院  
白末  
大納言師氏  
土御門院  
藤三位  
按察使  
大納言師氏  
皇太后  
大納言師氏  
源仲光  
源成

同立四

手載志一 岩のふちよふみぬ個も  
 凡雅志四 いましてさる物もはれりよ  
 新志志三 ありてさる物もはれりよ  
 張古志三 海もはれりよ  
 長秋志上 ありてさる物もはれりよ  
 手載志三 世もはれりよ  
 初志志下 ありてさる物もはれりよ  
 拾遺志上 神乃よひりよ  
 千載志四 りてさる物もはれりよ  
 新志志四 藤のふちよふみぬ個も  
 千載志四 おひきよふみぬ個も  
 山家集下 りてさる物もはれりよ  
 壬生志上 ありてさる物もはれりよ  
 新志志二 ありてさる物もはれりよ  
 後拾遺志二 ありてさる物もはれりよ  
 新拾遺志三 ありてさる物もはれりよ  
 後拾遺志四 りてさる物もはれりよ

堀河右大臣 後成 後人志三 前中納言定家 大納言通具 後中納言定家 中納言通具 源仲經 入道前中納言 院御掾 平忠俊 平政長 法皇實願 相模

拾遺集七

同一

新志志一 ありてさる物もはれりよ  
 張古志一 ありてさる物もはれりよ  
 拾遺志上 ありてさる物もはれりよ  
 新志志二 ありてさる物もはれりよ  
 拾遺志一 ありてさる物もはれりよ  
 拾玉集一 ありてさる物もはれりよ  
 十載志一 ありてさる物もはれりよ  
 長秋志上 ありてさる物もはれりよ  
 拾遺志二 ありてさる物もはれりよ  
 拾遺志上 ありてさる物もはれりよ  
 拾遺志四 ありてさる物もはれりよ  
 拾遺志一 ありてさる物もはれりよ  
 拾遺志一 ありてさる物もはれりよ  
 拾遺志一 ありてさる物もはれりよ

正三位 太上天皇 東極前用 太宰太政大臣 伊勢 右大臣 大宰前大臣 和泉式部 待賢門院

新古今三

秋の風... 人磨

拾玉集一

... 秋の風...

新古今三

... 秋の風...

拾玉集二

... 秋の風...

新古今三

... 秋の風...

拾玉集三

... 秋の風...

同

... 秋の風...

風雅集二

... 秋の風...

拾玉集三

... 秋の風...

同

... 秋の風...

風雅集二

... 秋の風...

拾玉集三

... 秋の風...

同

... 秋の風...

風雅集二

... 秋の風...

拾玉集二

... 秋の風...

千載集三

... 秋の風...

風雅集二

... 秋の風...

新古今三

... 秋の風...

新拾遺集

... 秋の風...

後拾遺集

... 秋の風...

新古今三

... 秋の風...

新葉集一

... 秋の風...

千載集一

... 秋の風...

新古今三

... 秋の風...

拾玉集一

... 秋の風...

山家集十

... 秋の風...

後衣四

... 秋の風...

新葉集一

... 秋の風...

千載集一

... 秋の風...

新古今三

... 秋の風...

新古今三

... 秋の風...

後衣四

... 秋の風...

新古今三

... 秋の風...

新古今三

... 秋の風...

古今三

... 秋の風...

皇太后

二隆院

後成



新編意三 加さうりや今世の事... 前大徳寺長  
 新編古意三 おあ世まありとゆの... 大徳寺長  
 新編意三 紫しあわぬ世の事... 院寺  
 玉葉意三 いきそ世まありと... 大徳寺長  
 金葉意三 つきそ世まありと... 院寺  
 拾遺意四 人まにまをせと... 院寺  
 新編意四 多ちあけ人まを... 院寺  
 長秋詠摩 くれあけい... 院寺  
 新編意中 くらいゆ... 院寺  
 新編意三 いまは... 院寺  
 新編意三 世はうきも人... 院寺  
 後拾遺意三 いそあけ... 院寺  
 後撰意三 いそあけ... 院寺  
 新編意二 いそあけ... 院寺  
 新編意四 うらぬ... 院寺  
 古今意三 くらぬ... 院寺

新編意三 くらぬ... 道命法師  
 同意三 くらぬ... 院寺  
 後撰意四 くらぬ... 院寺  
 壬生二意中 くらぬ... 院寺  
 新編意四 くらぬ... 院寺  
 玉葉意三 くらぬ... 院寺  
 壬生三意下 くらぬ... 院寺  
 新編意三 くらぬ... 院寺  
 拾遺意草 くらぬ... 院寺  
 同 くらぬ... 院寺  
 新編意四 くらぬ... 院寺  
 同意一 くらぬ... 院寺  
 新編意三 くらぬ... 院寺  
 同意三 くらぬ... 院寺  
 同編意上 くらぬ... 院寺  
 拾遺意上 くらぬ... 院寺





玉葉卷四 いくさる秋の移る花をみよ 一ひきひもくぬきま 院師製

拾遺卷四 ちれといたのじつより山川の こときせいにほりたぬ くらん

早殿 ちれといたのじつより山川の こときせいにほりたぬ 院師製

玉葉卷一 うむくもちれつとて後川 こときせいにほりたぬ 院師製

金葉卷下 くらんのかうとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製

新古卷二 天雲はやくまのしるすちれや こときせいにほりたぬ 院師製

壬生二品上 とりけつとちれつとて後川 こときせいにほりたぬ 院師製

新古卷二 秋風はやくまのしるすちれや こときせいにほりたぬ 院師製

千載卷四 くらんのかうとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製

拾玉集七 そくくあふてきせいにほりたぬ こときせいにほりたぬ 院師製

金葉卷下 あまのしるすちれや こときせいにほりたぬ 院師製

拾遺卷四 風吹はやくまのしるすちれや こときせいにほりたぬ 院師製

新古卷二 思ひ流る西のけしきとて こときせいにほりたぬ 院師製

拾玉集七 うらみとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製

同 くらんのかうとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製

新古卷二 あまのしるすちれや こときせいにほりたぬ 院師製

子載賀 くらんのかうとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製

山家集 くらんのかうとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製

拾玉集四 くらんのかうとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製

新古卷二 くらんのかうとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製

新古卷二 くらんのかうとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製

新古卷二 くらんのかうとてあまのま こときせいにほりたぬ 院師製



拾玉集四

君の代と松のそりさるる松の  
こもをよすむのまはる

風雅秋上

夕よりとれ夕白れ山は秋みえて  
こもをよすむのまはる 後三位宮子

新古今中

つれ浦と松乃葉よりし種れ  
こもをよすむのまはる 宗道法師

後拾冬

秋月とてあまの晴れや  
こもをよすむのまはる 同

風雅秋中

松風もさよひききてあつたれ  
こもをよすむのまはる 永福院内侍

拾玉集二

葉乃たより同く人かたれも  
こもをよすむのまはる

拾遺愚草

もろきぬとすむきぬも  
こもをよすむのまはる

拾玉集三

釣雷さかひく種すも  
こもをよすむのまはる 松原

山家集下

時もあつき山へよまじくひ  
こもをよすむのまはる 宗道法師

後千五

ちりよふ種まもなれは山  
こもをよすむのまはる 宗道法師

山家集

足引のよをちれれとあま  
こもをよすむのまはる 宗道法師

月清集上

松のけのまはれあまよ  
こもをよすむのまはる 宗道法師

新古今

庭乃たよ月めぬと成たり  
こもをよすむのまはる 白河院侍

拾遺愚草

深山ぬく風乃のさきま  
こもをよすむのまはる

壬生二系上

あつとれまよけれゆ  
こもをよすむのまはる 宗道法師

新古今上

もまかろ日報とよ水も  
こもをよすむのまはる 宗道法師

新古今下

喜れ松の月もつとあま  
こもをよすむのまはる 宗道法師

新古今下

一枝とあつとあつと花  
こもをよすむのまはる 宗道法師

拾遺愚草

さつと花なをりもぬ一枝  
こもをよすむのまはる

風雅雅中

山かまの葉そめて出るま  
こもをよすむのまはる 宗道法師

拾玉集二

波乃きいれまよ水も  
こもをよすむのまはる

長秋詠

吹風の心とちりす花  
こもをよすむのまはる

栄子内親王 大慈有家 皇太后 徳成女 入道 大慈有家

拾玉集一 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

新千冬 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

風雅五 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

新葉秋上 秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾玉集一 山様嘆き人のしらけり 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

新葉古賀 十のりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

新葉雜上 山様かいつ神よかのふちり 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

壬生二系上 いはれり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

後撰志二 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾遺雜其 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

壬生二系上 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

千載冬 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾玉集四 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

後撰志二 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾遺雜其 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

壬生二系上 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

千載冬 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾玉集四 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

後撰志二 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾遺雜其 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

壬生二系上 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

千載冬 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾玉集四 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

後撰志二 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾遺雜其 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

壬生二系上 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

千載冬 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾玉集四 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

後撰志二 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

拾遺雜其 志んりりみきけり秋乃山嵐は 指をとりぬ本はさる外 大徳信定

新後善下

佛吉那の花のちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
大納言忠良

拾玉集六

喜日山いくち年とのほろちん  
二十多のちり雪のまじりて  
門下槐樹

同

もろのちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
上東門院付

後拾遺集五

みもきとせのちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
或名那有頼

新後拾冬

なまを移りて今れ松を  
二十多のちり雪のまじりて  
或名那有頼

山家集上

もろのちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
或名那有頼

拾玉集四

山さとのちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
或名那有頼

後拾遺集

いふは神のほろちり雪  
二十多のちり雪のまじりて  
或名那有頼

新後拾春

あまのちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
道英法師

新後冬

もろのちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
法中老練

拾遺集上

けりちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
院佛製

後撰冬

もろのちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
よみ人ふら

玉葉秋上

山風よりちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
院佛製

拾玉集七

うれちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
院佛製

同四

ほろちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
院佛製

新後古祭

唐珍條りけてちり雪保山の  
二十多のちり雪のまじりて  
前大納言忠良

拾玉集六

松のちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
前大納言忠良

後拾遺下

今ちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
太上天皇

風雅喜中

枝のちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
伏見院付

拾遺集上

ちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
伏見院付

同上

うれちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
伏見院付

玉葉喜下

甚風のちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
大納言忠良

後古春下

吹のちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
大納言忠良

新後冬

いつちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
大納言忠良

新後雜三

ちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
大納言忠良

拾玉集四

ちり雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
大納言忠良

拾遺愚草中

いせ雪のまじりて  
二十多のちり雪のまじりて  
大納言忠良

類  
奇  
九  
十三  
終

